

臨床薬学3

責任者・コーディネーター	臨床薬学分野 工藤 賢三 教授 臨床薬学分野 朝賀 純一 准教授		
担当講座・学科(分野)	臨床薬学分野、地域医療薬学分野、情報薬科学分野		
対象学年	4	区分・時間数	講義 15 時間
期間	後期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

実際に行われている薬剤業務全般についての基本的知識、技能、態度を修得、理解することで、時代が求める医療を実践できる薬剤師としての素養を身につける。特に臨床薬学3では、医療機関や地域で他職種が連携・協力するチーム医療に参画するために、チーム医療における他職種の役割と意義を理解する。また、代表的な疾患を通して、患者情報の収集、医薬品情報を基に、チーム医療で求められる個々の患者に適した薬物療法を提案・実施・評価できる能力の基礎を修得する。臨床薬学3は、実務実習の事前学習科目である。

・教育成果（アウトカム）

チーム医療や地域医療を実践できる薬剤師としての必要な基本的な知識、技能、態度について説明できる。薬剤師が行っている業務（リスクマネジメント、医薬品情報管理、服薬指導、薬学的管理と処方提案など）について理解を深めることで、薬剤師業務の目的と意義が説明できる。
(ディプロマポリシー：1, 2, 4, 5, 6, 8, 9)

・到達目標（SBO）

1. 基本的な医療用語、略語の意味を説明できる（986）。
2. 患者および種々の情報源（診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等）から、薬物療法に必要な情報を収集できる（987）。
3. 身体所見の観察・測定（フィジカルアセスメント）の目的と得られた所見の薬学的管理への活用について説明できる（988）。
4. 基本的な身体所見を観察・測定し、評価できる（989）。
5. 代表的な疾患に対して、疾患の重症度等に応じて科学的根拠に基づいた処方設計ができる（999）。
6. 病態（肝・腎障害など）や生理的特性（妊婦・授乳婦、小児、高齢者など）等を考慮し、薬剤の選択や用法・用量設定を立案できる（1000）。
7. 代表的な疾患に用いられる医薬品の効果、副作用に関してモニタリングすべき症状と検査所見等を具体的に説明できる（1013）。
8. 代表的な疾患における薬物療法の評価に必要な患者情報収集ができる（1014）。
9. 代表的な疾患の症例における薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で記録できる（1015）。
10. チーム医療における薬剤師の役割と重要性について説明できる（1026）。
11. 多様な医療チームの目的と構成、構成員の役割を説明できる（1027）。

12. 病院と地域の医療連携の意義と具体的な方法（連携クリニカルパス、退院時共同指導、病院・薬局連携、関連施設との連携等）を説明できる（1028）。
13. 妊婦・授乳婦の薬物療法に必要な知識と薬剤師の役割を説明できる（☆）。
14. 地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制（地域包括ケア）およびその意義について説明できる（1035）。
15. 地域医療の現状について説明できる（☆）。
16. 在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる（1039）。
17. 在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる（1040）。
18. 在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる（1041）。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
8/24	月	3	臨床薬剤学分野	工藤 賢三 教授	<p>「チーム医療と薬剤師」 「チーム医療（1）：がん」</p> <p>1.チーム医療における薬剤師の役割と重要性について説明できる。 2.がんの薬物療法における必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。</p> <p>【双方向授業】 事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。 事後学習：講義で用いた配布資料や演習問題を確認し振り返りを行う。必要に応じて授業内容をまとめる。</p>
8/24	月	4	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>「チーム医療（2）：脳血管障害、精神・神経疾患」</p> <p>1.脳血管障害の薬物療法における必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。 2.精神・神経疾患の薬物療法における必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。</p> <p>【双方向授業】 事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。 事後学習：講義で用いた配布資料や演習問題を確認し振り返りを行う。必要に応じて授業内容をまとめる。</p>
8/25	火	3	地域医療薬学分野	松浦 誠 特任教授	<p>「チーム医療（3）：高血圧、心疾患」</p> <p>1.心疾患の薬物療法における必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。 2.心疾患の薬物療法における必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。</p> <p>【双方向授業】</p>

					<p>事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。</p> <p>事後学習：講義で用いた配布資料や演習問題を確認し振り返りを行う。必要に応じて授業内容をまとめる。</p>
8/25	火	4	情報薬科学分野	西谷 直之 教授	<p>「チーム医療（４）：免疫・アレルギー疾患、感染症」</p> <p>1.免疫・アレルギー疾患の薬物療法における必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。</p> <p>2.感染症の薬物療法における必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。</p> <p>【双方向授業】</p> <p>事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。</p> <p>事後学習：講義で用いた配布資料や演習問題を確認し振り返りを行う。必要に応じて授業内容をまとめる。</p>
8/26	水	3	臨床薬剤学分野	朝賀 純一 准教授	<p>「チーム医療（５）：糖尿病、妊婦・授乳婦の薬物療法支援」</p> <p>1.糖尿病の薬物療法における必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。</p> <p>事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。</p> <p>2.妊婦・授乳婦の薬物療法支援に必要な知識と薬剤師の役割を説明できる（☆）。</p> <p>【双方向授業】</p> <p>事後学習：講義で用いた配布資料や演習問題を確認し振り返りを行う。必要に応じて授業内容をまとめる。</p>
8/26	水	4	臨床薬剤学分野	高橋 宏彰 助教	<p>「医療チーム（１）：感染制御チーム、緩和ケアチーム」</p> <p>1.感染制御チームにおける必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。</p> <p>2.緩和ケアチームにおける必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。</p> <p>【双方向授業】</p> <p>事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。</p> <p>事後学習：講義で用いた配布資料や演習問題を確認し振り返りを行う。必要に応じて授業内容をまとめる。</p>

8/31	月	3	臨床薬剤学分野	小原 道子 非常勤講師	<p>「地域におけるチーム医療」 「在宅医療・介護への参画」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域におけるチーム医療について説明できる。 2. 地域医療における薬剤師の役割が説明できる。 3. 在宅医療における薬剤師の役割が説明できる。 <p>事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。</p> <p>事後学習：講義で用いた配布資料や演習問題を確認し振り返りを行う。必要に応じて授業内容をまとめる。</p>
8/31	月	4	臨床薬剤学分野	吉田 徹 非常勤講師	<p>「チーム医療と医師の視点による薬剤師の役割」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チーム医療における薬剤師の役割について説明できる。 2. 地域医療の現状について説明できる（☆）。 <p>事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。</p> <p>事後学習：講義で用いた配布資料や演習問題を確認し振り返りを行う。必要に応じて授業内容をまとめる。</p>
9/7	月	3	臨床薬剤学分野	朝賀 純一 准教授	<p>「医療チーム（2）：栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養サポートチームにおける必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。 2. 褥瘡対策チームにおける必要な知識と薬剤師の役割を説明できる。 <p>【双方向授業】</p> <p>事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。</p> <p>事後学習：講義で用いた配布資料や演習問題を確認し振り返りを行う。必要に応じて授業内容をまとめる。</p>
9/14	月	1	臨床薬剤学分野	工藤 賢三 教授 朝賀 純一 准教授	<p>臨床薬学3のまとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チーム医療における他職種の役割と意義を理解し、チーム医療や地域医療を実践できる薬剤師としての必要な基本的知識、技能、態度について説明できる。 2. 1)～9)について授業内容の要点についてまとめを行う。 <p>1). 「チーム医療と薬剤師」</p>

					「チーム医療（１）」 2).「チーム医療（２）」 3).「チーム医療（３）」 4).「チーム医療（４）」 5).「チーム医療（５）」 6).「医療チーム（１）」 7).「医療チーム（２）」 8).「チーム医療と医師の視点による 薬剤師の役割」 9).「地域におけるチーム医療」 「在宅医療・介護への参画」 事前学習：予定されている授業内容を 確認し、講義で用いた配布資料や演習 問題を確認する。また、教科書や参考 書等で予習する。 事後学習：必要に応じて授業内容をま とめる。
--	--	--	--	--	--

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅰ. 臨床薬学の基礎 および処方箋に基づく調剤	日本薬学会 他 編	東京化学同人	2017
教	スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅱ. 薬物療法の実践	日本薬学会 他 編	東京化学同人	2018
教	スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅲ. チーム医療およ び地域の保健・医療・福祉へ の参画	日本薬学会 他 編	東京化学同人	2018
参	治療薬マニュアル 2020	高久史磨、矢崎義雄 監修	医学書院	2019
参	新ビジュアル薬剤師実務シリ ーズ薬剤師業務の基本 [知 識・態度] 第3版	上村直樹, 平井みどり 監修	羊土社	2017
参	新ビジュアル薬剤師実務シリ ーズ薬剤師業務の基本 [技 能] 第3版	上村直樹, 平井みどり 監修	羊土社	2017

・成績評価方法

定期テスト（90%）と小テスト（10%）で評価を行う。

・特記事項・その他

〈事前学習・事後学習のポイント〉

事前学習としては、予定されている授業内容を確認し、内容に関して教科書や参考書等を読んでまとめること。事後学習としては、予習内容、授業内容の要点・課題について理解できるようにしておくこと。また、授業内容をまとめておくこと。これらの学習には、各コマに対して事前に30分、事後に60分程度を要する。更に、定期試験前には10時間程度の総復習の時間を確保する必要がある。講義は原則教科書及び参考書を用いて実施する。必要に応じてスライドを使用することがあるが、ハンドアウトの配布は行わない。補足資料は必要に応じて適宜配布する。講義内容に関する小テストを実施する。小テストについては、講義中に必要に応じて解説する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
	コンピューター	1	講義資料の映写、プレゼンテーション